

令和6年度 事業報告

はじめに

新型コロナウイルスの感染は以前と変わりなく発生していますが、「正しく恐れる」意識が市民に浸透し、社会活動はコロナ前の状態にほぼ戻ったと言える中、恵那市シルバー人材センターも諸活動を以前と同じように行っています。現在の少子高齢化が急速に進む中で、高齢者の長年培ってきた能力・知識・技能を生かして地域の活性化のために貢献し、高齢者の健康維持や生きがい作りを図る社会的役割は益々大きなものとなっており、魅力ある事業展開を進める必要があります。

こうした中であって、受注の状況は、地域の人口が急速に減少している事もありここ数年一般家庭からの受注件数が減少していますが、請負受託金額では昨年度対比7%以上、労働者派遣事業は契約金ベースで昨年度対比15%以上上回りました。

会員数を見てもみますと、コロナ禍にあった令和3年度に入会者28名退会者87名合計59名の減少であったのが、年々入会者増・退会者減の流れになり、令和6年度は入会者51名退会者58名合計7名の減少まで持ち直してきたことで、令和7年度以降入会者が退会者を上回る兆しが見えてまいりました。

具体的に会員数と事業実績を振り返りますと、会員数548名（男352名・女196名）で、昨年度と比較すると7名の減員となりました。

事業実績は、受託事業においては、受注件数3,234件、受注金額165,860,439円で、昨年度と比べ受注件数では133件の減、受注金額では、11,341,226円の増加となりました。一方、労働者派遣事業では、受注件数において、38件と昨年度より11件減少しましたが、契約金額では、45,759,893円と、前年対比で6,048,963円の増加となりました。

就業開拓等の取り組みに対する会員や役職員の努力はもとより、行政関係者の指導・支援をはじめ、一般家庭・民間事業所等、様々な方々のご理解とご協力をいただき、一定の成果につなげることが出来ました。

以下、令和6年度の事業概要について報告します。

1. 会員の拡大と会員組織体制の強化

1) 会員の増強と普及啓発活動の推進

シルバー事業の発展には、会員の増強と就業開拓が不可欠なため、派遣就業コーディネーターによる特に会員数の少ない地区への各戸訪問、会員の増強と普及啓発に感染状況を考慮しながら努めておりましたが、「健幸フェスタ in えな」「お仕事フェア」に参加をして事業のPRと会員募集をしました。毎月第2木曜日の入会説明会にはコロナ感染対策を行った上で開催を行い加入促進に努めました。さらに、恵那市全世帯に配布している機関紙「シルバー恵那」では、年1回の定例発行のほか、3月に発行した増刊号では、特に会員募集に焦点を絞り女性会員や不足している職種の会員増強を図りました。

2) 会員組織体制の強化

事業の円滑な推進を図るためには、多くの会員による組織化された運営体制の確立と、会員自らが就業に取り組む意識、健全な発展と信頼される事業運営の推進と、役

員の負担軽減、費用節約の為、理事会を議題に合わせ適宜開催することで、可能な限り事業の効率的な運営と所管事業の推進・強化を図りました。

また、会員の交流と連帯意識の向上を図るため、以前整備した費用弁償の規程を活用し、感染対策に注意して可能な限りボランティア活動に対し参加、情報交換等が出来るよう努めました。

2. 就業開拓の推進と就業機会の確保

1) 就業機会の確保と未就業会員の解消

就業機会の確保と拡大のため、適宜対面、非対面による就業確保の依頼を行いました。3月には広報紙「シルバー恵那」の増刊号を発行し、会員の募集とあわせて就業先の開拓に努めました。

また、一人でも多くの会員が就業できるよう、選挙管理業務や軽微な就業により、未就業会員の解消に努めました。

2) 技能習得と知識向上

岐阜県連合会主催による「認知症予防・家事援助講習」「素敵なライフプラン終活講習」を開催した他、「すこやかヘルパー養成講座」や恵那市ファミリー・サポート・センター主催の「えなっ子育てサポーター研修」に参加し、就業拡大につながる技能の習得と知識の向上を図りました。その他予定している包括的な契約方法の変更に向けての準備或いは会員と事務局業務を効率的に繋ぐ為に、使用している業務システム「エイジレス80」の付随システム「smile to smile」の普及・利用を推進しました。

3) 福祉・家事援助サービス事業の推進

日常生活に支援が必要な高齢者世帯や一人暮らしの高齢者のため、関係機関と連携を図り、コロナ感染防止対策に注力しながら、軽度生活支援、寝具乾燥消毒、外出支援送迎サービス、おしゃべりパートナー訪問や各介護施設へ会員を派遣し施設利用者の声などを伺う介護相談員派遣事業等の受託業務や介護予防日常生活支援総合事業のうち軽度生活支援にかかわる市独自の基準による訪問型サービスAや現役世代をサポートするため、子育て育児サービスを受託しました。

3. 安全・適正就業の推進と健康管理

安全就業はシルバー事業の基本であり、「安全は全てにおいて優先する」の理念に基づき会員一人ひとりが就業中や就業途上での事故防止のために、安全就業に対する認識を持ち、常に自己の健康管理を図ることが大切なため、会報「シルバーお知らせ」による関連記事を掲載し、安全意識の高揚に努めました。結果、令和5年度まで徐々に増えていた傷害事故・賠償事故の発生件数は、令和5年度傷害事故発生件数8件、賠償責任事故発生件数7件から令和6年度傷害事故発生件数2件、賠償責任事故発生件数4件と其々大幅に減少し一定の効果を上げることが出来ました。今後会員の高齢化が進む中、一層の安全就業を啓発して参ります。

又、市役所担当課と連携し、健康診断や運転意識の向上を図る講習会への参加を啓発し、健康管理と安全就業への意識向上を図りました。

4. 事務局体制の整備

安定的、継続的な事業展開のためには、効率的な事務局体制が不可欠です。このため、従来より使用している総合情報処理システムに付随した会員との情報伝達システムの使用を始め、事務処理の円滑化・効率化と適正な資産管理を行いました。

5. 財政基盤の確立

1) 安定した事業運営を図る

事業の継続的かつ安定した運営を図るため、派遣就業コーディネーターの設置により就業拡大、会員増強に努め、収益及び事務費の収入増加に努め、労働者派遣事業収益を含め予算を上回る事務費収入を計上する事が出来ました。

2) 指定管理者制度に伴う対応

平成20年4月から当センターが指定管理者となっている「岩邑いきがい会館」の適正な管理に努め、令和3年度からの5年間、引き続き指定管理者としての指定を受けることができました。

6. 事業達成の努力目標

就業拡大と会員の確保をめざし、年度目標を定めて事業に取り組んできましたが、その実績は、全国会員100万人計画の目標値である恵那市に設定された666人の目標には及ばず、昨年度と比較すると会員数7名の減、受注件数133件の減、就業延人数1,352人日の減、受注金額では、11,341千円の増となりました。派遣事業収益では6,049千円の増となっています。

事業目標・実績比較

項目	令和6年度目標	令和6年度実績	達成率
会員数	600名	548名	91.3%
受注件数（派遣事業含む）	3,540件	3,272件	92.4%
就業延人数（派遣事業む）	37,650人日	33,805人日	89.8%
受注契約金額	165,000千円	165,860千円	100.5%
派遣事業契約金額	34,850千円	45,760千円	131.3%

7. 会員の活動の推進

会員自らの趣味や特技を生かし、親睦・交流を図るサークル活動や、会員が自ら計画した日帰りの旅行を2回実施し会員相互の親睦を深めました。各地域に組織されている地域班による公共施設等の環境整備等のボランティア活動は、会員延べ126名が参加し、地域住民との連携を深めるとともに、シルバー人材センターのPRに努めました。

8. 事業報告の付属明細書

令和6年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款43条(2)に規定する事業報告の付属明細書は作成しない。